

季刊誌
Vol.66

10月号

Quick ship



株式会社 ニッセイエコ
那須工場

ニッセイエコ52期スローガン

はい、
よろこんで

感謝して、慎み勇んで助け合い

OK!

YES



»»» 巻頭言

ChatGPTを もっと仕事のパートナーに



社長 関根明

生成AI、特にChatGPTを仕事で使う機会が増えてきました。しかし、「文章を作ってもらう」「分からないことを質問する」だけで終わってはいないでしょうか。

これからは、ChatGPTを単なる便利なAIではなく、一緒に考え、仕事を前に進めるパートナーとして、もっと有効に使ってほしいと思います。

そのために、ぜひ意識してほしいのが、「プロンプトエンジニアリング」です。少し難しい言葉に聞こえますが、簡単に言えば、ChatGPTからより良い答えを引き出すために、指示や問いかけを工夫することです。

「何をしてほしいか」だけでなく、「何のために」「どのような背景があるのか」「何に困っているのか」「最終的にどうしたいのか」まで具体的に伝えます。さらに、問題解決、データ分析、改善計画、文書作成など、目的に合ったプロンプトを使い分けることで、回答の質は大きく変わります。

また、ChatGPTには文章だけでなく、ExcelやCSV、Word、PDF、画像なども活用できます。過去の報告書やデータを材料として渡すことで、現状分析、問題点の整理、原因の考察、改善案の検討まで、一歩踏み込んだ使い方ができます。その結果を、表やグラフ、図解、PowerPoint、報告書、教育資料など、目的に合わせて表現することもできます。

大切なのは、ChatGPTに答えを任せることではありません。私たちの現場の知識や経験に、ChatGPTの分析力・整理力・表現力を掛け合わせることです。

「別の見方はないか?」「もっと良い方法はないか?」「この考え方に問題はないか?」——そんな壁打ち相手としても使ってください。

ChatGPTを使って仕事を楽にするだけでなく、仕事の質を一段上げる。プロンプトエンジニアリングを身につけ、ChatGPTをもっと頼れる「仕事のパートナー」にしていきましょう。

代表メッセージ

2026年スローガン



代表 稲村学

さあ、52期が始まりました。

今期、掲げたスローガンは、「はい、よろこんで」です。

毎朝の朝礼にて挨拶の発声練習を行なっている「よ・い・お・あ・し・す・は」であり、社内では馴染みのある言葉でしょう。

英語では「We can do that!」と社内用語として使っていますし、私も「ありがとう」の次に大切にしている言葉です。

基本方針としては、「感謝して、慎み勇んで助け合う」

“はい、よろこんで”の精神で、お客様と仲間に感謝し、互いの立場と考え方を尊重して助け合います。ニッセイエコとして今、大きな転換期を迎えようとしています。これまで培ってきた自動車、家電、通信、医療分野に加え、新たにインフラ事業を立ち上げ、新たな仲間たちを迎え、製品や技術、そしてお客様や仕入先様の数も大きく広がっています。

前期1年、インフラ向けの製品を製造し販売する中で、今まで当社が既存品で実践してきた販売方法やサービス、デリバリーのやり方、考え方の相違（ズレ）があることに気づかされました。確かに、今までの流通先やユーザーが違えば、お客様が求めるもの（価値）も当然変わっていきます。その価値というベクトルを合わせていき、組織としてチームのメンバーひとり一人が、同じ目的と方向に向かって考え、行動することができて初めて、顧客課題と向き合い課題解決に繋がっていくと思います。そして「はい、よろこんで」をお客様に対してだけの言葉にしないことです。“仲間に感謝し、互いの立場と考え方を尊重して助け合う”このような気持ちと行動がなければ、長期的、恒久的な課題解決には繋がりません。

仕事は、一人では完結できません。

営業の立場、製造の立場、品管、開発、業務、購買、物流、総務など間接部門の立場、そして会社としての立場があり、協力メーカーなど仕入先様の立場があります。

それぞれが違う形であれ、良い製品を作ろう、良いサービスを届けよう、コスト削減に取り組もうと、同じお客様への課題解決に向かって仕事をしています。

“慎み”とは、相手の立場になって話を聞くこと。

“勇む”とは、前向きな気持ちで行動すること。

そして“助け合い”です。

周りに一緒にモノづくりをしてくれる仲間たちがいるからこそ、そこにニッセイエコというブランドが作られ、当社の製品やサービスを使っていただけるユーザー様へ届けられます。

52期、当社としては、既存事業をさらに磨き上げるとともに、インフラ事業、フェムテック、ペット事業、新製品開発、また新たな海外拠点としてカンボジアの立ち上げや輸出版売の強化など、次なる成長の柱を育て、グループ売上全体の底上げを目指していきます。

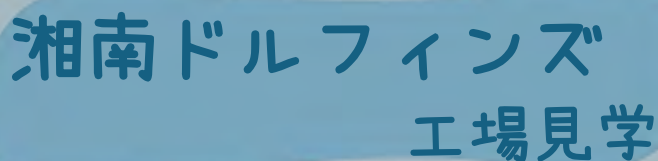
そのための基本となるのが、お客様へ安全で高品質な製品とサービスを迅速かつ効率よく提供し続けることであり、当社の理念である“先ずは考え方ありき”“思い立ったらすぐ行動”“はい、よろこんで”の精神が、当社のさらなる成長につながると考えています。

お客様の困りごとに「はい、よろこんで」

仲間からの頼みごとに「はい、よろこんで」

そして、新しい挑戦に「はい、よろこんで」

お客様、仕入先様をはじめ、日頃より当社を支えてくださる皆様への感謝を忘れず、国内・海外に広がる仲間たちと力を結集し、今期ニッセイエコが次なるステージへ飛躍する一年にしていきます。



体験＆ワイズ



ぺたぺた焼き



色付けた作品を
加熱して完成！



クイズに挑戦☆

次回パフォーマンス予定の演目を披露していただきました♪
パフォーマンス前の整列が揃っていて、とても素晴らしいかったです！子どもたちの勢いのある表現に一同感動しました。



最後にはお土産をお渡しし、今回の会社見学は無事終了。
子どもたちの元気な姿に、社員もたくさんのパワーをもらいました！
湘南ドルフィンズの皆さん、今年もありがとうございます。
これからも皆さんの活動を応援しています♪

いざという時に動ける自分に!



AED救命救急講習会

藤沢本社で3時間の救命救急講習会が実施されました。

今回は座学だけでなく、訓練用人形を使った胸骨圧迫（心臓マッサージ）や、実際の流れに沿ったAEDの操作など、みっちりの実技を体験しました。3時間しっかりと体を動かしながら学ぶことで、「聞いたことがある」状態から「実際に動ける」イメージへと意識が変わる、非常に充実した時間となりました。

「万が一」はいつどこで起こるかわかりません。救急車が到着するまでの数分間、現場にいる私たちがどう行動するかで繋がる命があります。社内のAED設置場所の再確認はもちろん、日常や緊急時にも周囲と協力し合える意識をより一層高め、大切な仲間や身近な人を守るためにも、今回学んだ一次救命のステップを忘れず、常に防災・安全意識を持って業務に取り組んでいきたいと思います。

周囲の安全、呼吸、大出血、確認した後に心臓マッサージを実施

AEDの準備は心臓マッサージと並行して行います。



＼タブレット導入でスムーズ&快適!／

51期 棚卸レポート



8月の最終日、社内にて棚卸し作業を実施しました。

今回の棚卸しは、タブレットによるデジタル在庫照会になって三回目の棚卸しでした。三回目ともなるとみんな慣れた手つきで入力。作業もスムーズで、従来の紙によるチェックに比べると、作業スピードと正確性が格段に向上していました。



また、当日は連日の猛暑が和らぐ恵みの曇り空となり、非常に過ごしやすい環境の中で作業を進行。スタッフ同士で声を掛け合いながらスムーズに確認を進め、大きなトラブルもなく無事に完了することができました。

デジタル化による業務効率化を実感するとともに、声を掛け合って作業できた素晴らしい一日となりました。ご協力いただいた皆様、本当にお疲れ様でした!

特集 那須工場 5つのこだわり

既存製品をつくる工場から、
新しい価値をつくる工場へ。

那須工場の製造部門は、
コルゲートチューブ・PVCチューブ・コンパウンドの3部門が
お客様や社会の変化を先取りし、新しい製品・用途・材料に挑戦しています。



01 新規性

新しい発想で、
新たな価値を創造

02 生産性

材料・人・設備・
工程を最適化
無駄を無くし効率
を高める

03 自動化

自動化・省人化で
安定の生産と品質

04 利益性

原価低減と付加価
値向上で持続的な
成長を目指す

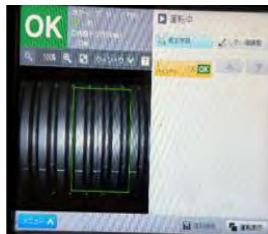
05 品質

安心・安全を基準
に、信頼される品
質を守り安定供給
を実現

3部門それぞれのこだわり

コルゲート部門

多様なニーズに応える



自動化 AI画像処理導入



自動化 材料自動混合導入

ポリプロピレン



新規性 ナイロン(125℃)からの
置換え。135℃長期耐熱PPコル
ゲート



新規性 バイオマスコルゲート
こだわり環境ニッセイエコ

チューブ部門

安全・快適な社会を支える



新規性 インド市場からのニーズ。
ヘッドランプメーカー向け
耐熱チューブ・耐熱ソフト
チューブ新規採用へ

柔軟性と防曇性を両立したソフトチューブ



品質 ヘッドランプメーカー
の品質評価試験で、5段階評
価のうち、最高評価を獲得。

コンパウンド部門

素材の可能性を広げ
グローバル安定供給

高耐熱125℃仕様で信頼性を確保



新規性 耐熱125℃仕様
新規材料ラインナップ



新規性 環境対応車向けPP硬質
材料の生産とグローバル展開

5つのこだわりをこれからも各部門が追求する
ことで、那須工場の新しい価値をこれからも
高めて参ります。

フェムテックニュース

スポンサー契約のお知らせ

上田 真穂 選手

上田選手との出会いは、2025年12月8日に開催された「B& WOMEN' S ATHLETE MEET UP」でした。

当日はFlexもイベントに出展し、「アスリート×生理課題」をテーマとした座談会を行いました。さまざまな競技のアスリートの皆さまと、競技生活における生理との向き合い方や、これまでに感じてきた悩みについて意見を交わすなかで、上田選手にもFlex月経ディスクを知っていただきました。

その後、実際にFlexを使用していただき、製品のファンになってくださったことを大変うれしく思っています。

交流を重ねるなかで、ニッセイエコの本社が藤沢市にあること、そして上田選手が所属するエアロビックチームが湘南エリアを拠点に活動していることが分かり、地域に根差して挑戦を続ける上田選手を応援したいという思いが生まれました。

このようなご縁から、このたびニッセイエコは、微力ながらスポンサーとして上田選手を応援させていただくこととなりました。



出場大会情報

スズキジャパンカップ2026

(第43回
全日本総合エアロビック選手権大会)

日程：2026年11月14日・15日

場所：EBARA WAVEアリーナおおた
(大田区総合体育館)



←大会情報はQRから
要チェック！

PROFILE

上田 真穂 (うえだ まほ)

<競技>

エアロビック 日本代表

<所属>

アステム湘南VIGOROUS

<主な戦績>

2020年スズキジャパンカップ
第37回全日本総合エアロビック
選手権全国大会

女子シングル部門 初優勝

トリオ部門で2連覇を達成、同
大会で3冠を達成。



flex note 開設



温泉やスパの日には生理...私が「嫌める」より「楽しむ」を選べた理由

Flex Japan 2025年10月



「血が垂れてたら教えてね。」競泳をしていた私の生理のはなし

Flex Japan 2025年10月



「生理だから諦める」を減らしたかった。夏フェスで月経ディスクに救われた話

Flex Japan 2025年10月



Flexのnoteアカウントが開設されました。
Flex月経ディスクのリアルな使用体験を発信！



人気タレント・SHELLYさんのYouTubeチャンネル「SHELLYのお風呂場」コラボ第二弾！視聴者の皆さまから寄せられたQ&Aに答えながら、Flexのリアルな使用感を本音でレビューしていただいています。気になっている方も、すでに使っている方も必見の内容です。詳しくはぜひ動画をご覧ください！

INFORMATION

New Face

滋賀倉庫 澤村さん

- ①慎重派 ②ドローン
③食べても太らない体質
④7月15日から滋賀工場に入社しました澤村です。
会社の戦力になれるよう頑張ります。よろしく
お願いいたします。



本社 ハイさん

- ①明るくて前向き ②サッカー
③何事も諦めず最後まで頑張れる
④まだ分からないことも多いですが、早く仕事
に慣れて、皆さんのお役に立てるよう頑張ります。
これからよろしくお願いします！
⑤日本の焼肉



本社業務 平野さん

- ①怠惰 ②音楽・映像鑑賞、昔の
アニメやドラマを一気見すること
③本当に無くて、どうしよう。(笑)
④不慣れな点が多いですが、一生懸命頑張
りますので皆さまどうぞよろしくお願いいたします
ます。



本社 フォンさん

- ①責任感が強い・前向きで諦めず
に努力できる
②旅行・家族や友達と過ごす
③人生で一番大変な時期を経験し
ましたが、あきらめずに前を向い
て、一步步乗り越えてきたこと
④日本に来てから、人生で一番大変な時期を経験
しました。その中で、支えてくれた友達や会社の
皆さんには、本当に感謝しています。日本で出
会った人たちの優しさに何度も助けられました。
これからも決して負けずに前を向いて頑張ってい
きたいです。そして、これまで支えていただいた
会社に恩返しができるように、一生懸命仕事をし
て、会社と一緒に成長していきたいと思っています。
⑤四季を感じられる美しい景色・寿司・ラーメン



滋賀製造 前川さん

- ①のんびり
②プラモデル制作・人形撮影
③人形の衣装作り(裁縫)
④これからもよろしくお願いします。



バレーボール

多くの従業員が参加し、チームに
分かれて熱戦を繰り広げました



フエさん
長男

ズオンくん

子育ては本当に大変です。毎日忙しくて、自分の時間もなかな
かありません。子どもが泣いたり、言うことを聞かなかったり
すると、疲れてしまうこともあります。でも、子どもの笑顔を見
たり、少しずつ成長していく姿を見ると、今まで大変さを
忘れてしまいます。子育ては決して楽なことではありませんが、
それ以上にたくさんの喜びと幸せをくれます。大変だからこそ、
子どもと過ごす毎日はかけがえのない宝物だと思います。